

令和5年度 事業報告

1 概要

まちの魅力発信事業では、吉田町の特産品「よしまちべっぴん」をホームページ上で紹介することによってまちの魅力を広める事業に取り組んだ。その一環として、今年度、当法人が運営する「よしまちべっぴん認定委員会」の審査を経て7品目を追加認定し、合計200件の認定商品をホームページの「べっぴんガイド」に掲載してサイトの充実を図った。また、「よしまちべっぴん」を広め、吉田町の情報に触れていただく機会を増やすため、「2023 よしまちべっぴん購入特典キャンペーン」を実施し、よしまちべっぴん取扱店舗に協力店舗を加えた29店舗を拠点として吉田町の特産品を紹介するとともに、近隣市町に所在する観光拠点や事業所の施設等に依頼してポスターを掲出し、事業効果を促進させるように努めた。

吉田町企業サポートセンター「よしサポ」運営事業では、静岡県よろず支援拠点から相談員の派遣を受け、年間を通して毎月相談日を設定しながら行う相談事業を実施し、創業や経営改善などに関する相談などに丁寧に対応した。また、町の委託を受けて「吉田町創業支援ネットワーク」の一員として行う創業希望者を対象とする特定創業支援事業「創業応援セミナー」については、静岡県よろず支援拠点及び吉田町商工会と連携して開催し、フォローアップも行いながら創業支援に向けた活動を支援した。

地域貢献環境保全事業では、吉田町の依頼に基づき、2級河川湯日川堤防の除草を年間3回行って年間を通じ良好な環境を整え、住吉地内と川尻地内保安林敷地の除草については適時期に1回行った。また、無償のボランティア活動として、町の依頼がなかった大幡川水門東側の保安林敷地一帯の除草作業も行い、良好な生活環境と景観を維持するための「町みがき」を実施した。

吉田町の委託を受けて令和5年度から実施したシーガーデン(川尻)景観形成事業では、鬱蒼と生い茂った川尻防潮堤緑道の両側の雑草を切り開き、ほぼ半分枯れていたシャリンバイの補植を行うとともに一部について町内の花愛好家の協力も得て花回廊の形状を創出させたほか、河川防災ステーションの除草、水防センターの維持管理と花壇の修景、川尻防潮堤側道等の除草、管理エリア全体のゴミ拾いなどを通年で実施した。また、国が管理する区域の除草も出来る限り行い、シーガーデン川尻エリアの景観を格段に向上させた。

地域活性化推進事業では、吉田町商工会が実施したプレミアム付き商品券販売への協力及び静岡うなぎ漁業協同組合の売店リニューアル移転オープンセールsの宣伝活動への協力を行い、地域活性化に寄与した。

指定管理者として実施している吉田町防災公園(北オアシスパーク)指定管理事業では、5月8日の新型コロナウイルス感染症5類移行を契機に、新型コロナウイルス感染拡大抑制型の施設利用形態から従来型へと段階的に変容させた。また、芝生や樹木の生育管理や園地清掃、オアシス館の設備点検や清掃、遊具等の点検や清掃などを怠りなく行ったほか、町内の花愛好家の協力も得て年間を通して花のある公園を演出するようにして、安心して様々な用途に活用していただける利便性の高い公園となるように管理運営した。

2 主要事業の概要

(1) まちの魅力発信事業 1,551,521円

ア ホームページ及びべっぴんガイド保守管理

ホームページの「べっぴんガイド」に新たに「よしまちべっぴん」として認定した7件の特産品の情報を追加し、各ページ配列の整理などを行い、より見やすく、情報を得やすい内容にして、ホームページを主体として吉田町の特産品を活用したまちの魅力発信を継続して行った。

イ ベっぴん認定審査委員会

(ア) よしまちべっぴん申請受付 2件

2店舗（事業所） 7品目

(イ) ベっぴん認定審査委員会開催

10月11日

(ウ) ベっぴん認定審査委員会委員

委員長 高橋 進（識見を有する者）

副委員長 谷澤智秀（吉田町理事）

委員 西尾 誠（吉田町商工会事務局長）

大箸武史（静岡銀行吉田支店長）

瀧井一也（島田掛川信用金庫吉田支店長）

(エ) 審査商品

No	商 品 名	店 舗 名
1	白焼き（長焼き）	ヤママツ村田商店
2	白焼き（中串）	
3	白焼き（大串）	
4	白焼き（小串5本セット）	
5	よし吉のアクリルキーホルダー	松本印刷(株)
6	よし吉のクリアファイル	
7	よし吉の缶バッジ	

(オ) 審査結果及び決定

べっぴん認定審査委員会が「審査商品すべてをべっぴん認定に値する」旨を理事長に具申し、理事長が直ちに、すべての商品を「よしまちべっぴん」に認定した。

ウ 2023 よしまちべっぴん購入特典キャンペーン

キャンペーン参加店舗で1,000円以上の買い物をして得た異なる種類の応募券2枚を専用応募はがきに貼って郵送するか、その画像を用いてホームページ内の応募フォームに入力して送信するかによって応募した方々の中から抽選により、吉田のうなぎ、しらす、はっとする推しの逸品などの詰め合わせをプレゼントした。

- (ア) キャンペーン参加店舗 29店舗
- (イ) 実施期間 11月1日～R6.1月31日
- (ウ) 抽選 2月13日
- (エ) 応募状況
 - ◇ 応募総数 1,114件
 - ◇ 応募者所在地
 - 吉田町 728件 (65.4%) 県内 (吉田町を除く) 364件 (32.7%)
 - 県外 21件 (1.9%) 不明 1件
 - ◇ 応募者年代
 - 20代 25件 (2.2%) 30代 65件 (5.8%) 40代 104件 (9.3%)
 - 50代 220件 (19.8%) 60代 279件 (25.1%)
 - 70代以上 376件 (33.8%) 不明 45件 (4.0%)
- (オ) 景品内容
 - ◇ ベっぴんうなぎ賞(15名)：うなぎ詰合せ 15,000円相当
 - ◇ ベっぴんしらす賞(55名)：しらす詰合せ 3,000円相当
 - ◇ よしまち推しの逸品賞(30名)：吉田のはっとする推しの逸品等詰合せ 7,000円相当

エ まちの魅力発信事業の成果

- (ア) 吉田町のうなぎ、しらすの歴史やうなぎ、しらす、その他特産品を扱う店舗などを紹介するホームページ中の「べっぴんガイド」は、テレビ局、雑誌社の取材対象となり、一部の内容が紹介され、吉田町の情報発信に役立つものとなった。
- (イ) ベっぴん購入特典キャンペーンでは、今後のべっぴん認定商品の拡大を視野に、現在認定商品を取扱っていない4店舗に協力店として参加いただいた。これにより、町内の多様な商品を知るきっかけとなり、吉田町のさらなる魅力を発信することができた。
- (ウ) キャンペーンを周知するチラシは、参加店舗により約30,000枚が配布され、多くの町民、来町者に吉田町の逸品、店舗情報を提供することができた。また、ポスターについては、町内及び近隣市町の企業、店舗、公共施設など114施設に掲示依頼を行い、139枚掲出され、町内外へ吉田町の魅力情報を発信することができた。

オ 経 費：委託費 (ホームページ保守管理・よしまちべっぴん商品取材他)	521,400円
消費品費 (キャンペーン景品代・アクリル認定証他)	624,555円
印刷製本費 (PRチラシ兼応募用紙・ポスター)	237,820円
発送費 (景品発送100件分)	127,642円
その他 (委員報酬、広告宣伝費、通信運搬費)	40,104円

カ 財 源

社員会費、町補助金、自主財源（地域貢献環境保全事業手数料・施設利用料）

(2) 吉田町企業サポートセンター「よしサポ」運営事業 354,127 円

ア 経営・創業相談業務

経営に係る悩み、創業に関する知識習得などに対し、専門家による無料相談を行った。

(ア) 会場：北オアシスパークオアシス館「よしサポ企業サポートセンター」

(イ) 相談員：静岡県よろず支援拠点コーディネーター

竹島寿夫氏 山堀圭太郎氏

(ウ) 相談日：延べ 27 日

(エ) 相談料：無料

(オ) 受付件数：67 件（2.5 件/日）

(カ) 相談内容(件数)：創業（28 件） 売上拡大（23 件） 販路開拓（10 件）

広告デザイン（8 件） 資金繰り（6 件）

ブランディング（6 件） 経営改善（5 件） その他（15 件）

(キ) 業種別：サービス業（40 件） 建設業（9 件） 飲食業（8 件） 製造業（4 件）

医療（4 件） その他（2 件）

(ク) 地区別：吉田町（52 件） 島田市（7 件） 牧之原市（4 件） その他（4 件）

イ 特定創業支援等事業「よしサポ創業応援セミナー」

創業を目指す方、創業間もない方を対象に、創業に関する知識習得を支援する経済産業省等認定特定創業支援等事業の無料セミナーを行った。

(ア) 会場：北オアシスパークオアシス館「研修室 A・B」

(イ) 開催日及びテーマ（いずれも午後 3 時から 5 時まで）

第 1 回 9 月 5 日（火）経営講座「創業の心構えと手続きを学ぶ」

第 2 回 9 月 15 日（金）販路開拓講座「中小企業の事例から学ぶ販路拡大」

第 3 回 10 月 13 日（金）人材育成講座「これからの人材育成と AI 活用」

第 4 回 10 月 27 日（金）財務講座「お金について学ぶ（簡単な財務分析と資金繰り表の作成）」

(ウ) 講師：静岡県よろず支援拠点コーディネーター

竹島寿夫氏 山堀圭太郎氏 勝山俊輔氏

(エ) 受講者

◇人数 12 人（男性 4 人 女性 8 人）

◇目指す業種 飲食業 3 名 製造小売業（焼菓子） 2 名 建設業 1 名

製造業 1 名 理容・美容院 3 名 トレーナー 1 名

農業資機材販売 1 名

◇開業の状況（R6.3 月現在） 既開業 10 人 未定 2 人

ウ 経 費：印刷製本費（ポスター・チラシ作成） 178,420 円

委託費（応募特設サイト作成） 55,000 円

消耗品費他（資料用紙他） 73,830 円

その他 46,877 円

エ 財 源：町委託料

(3) 地域貢献環境保全事業 2,646,420円

町の良好な景観づくりのため、町の依頼を受けて湯日川堤防と保安林敷地を中心に除草作業を実施。良好な景観を創出するとともに、地域の交通安全と防犯に寄与した。

ア 作業箇所：湯日川堤防、住吉海岸及び川尻海岸の保安林敷地ほか

(ア) 湯日川左岸9区間（延べ延長4,080m。総作業面積17,394㎡。）

※場所によって年2～3回の除草作業を行っている。

「美濃守橋～（260m）～山上橋～（352m）～山崎橋～（335m）～竹橋～（353m）～湯日川橋」

「お夏橋～（664m）～片岡橋～（418m）～中川原橋～（311m）～岩留橋」

「道上橋～（315m+100m）～千草橋下流水路」

(イ) 湯日川右岸

「千草橋～（972m）～山崎橋」

(ウ) 保安林6区間（総作業面積16,936㎡。一部ボランティアとしての作業部分あり。）

住吉地内 13,868㎡ 川尻地内 3,068㎡

イ 作業内容：湯日川については、管理道道路端から堤内、堤外へ1m～2.5mの範囲を除草。保安林は、雑草が繁茂する箇所を除草。

ウ 経 費：臨時雇賃金	1,538,165円
消耗品費（燃料、工具消耗品他）	540,402円
車両費（ガソリン代、車両点検費）	133,543円
賃借料（軽トラックリース代）	349,800円
保険料（傷害保険料、賠償保険料）	60,510円
その他	24,000円

エ 財 源：事業収入（地域貢献環境保全事業手数料）

（注）この事業によって、4,919,312円の事業収入を得、2,272,892円を当法人の自主財源とすることができた。

(4) シーガーデン（川尻）景観形成事業 1,864,248円

町との間で取り交わした「令和5年度吉田町防潮堤等川尻エリア管理業務委託契約」及び毎月定例とする町防災課との管理委託業務調整会議に基づき、川尻防潮堤の町管理区域、大井川川尻地区河川防災ステーションの町管理区域、水防センター、川尻防潮堤側道の両側部の良好な景観形成に努めた。

ア 作業状況

(ア) 作業員出役日数

月	出役日数（日）	出役作業員（人）
4	105	6
5	36	2

6	38	2
7	35	3
8	39	2
9	29	2
10	35	2
11	31	2
12	31	3
1	33	3
2	30	2
3	27	2
合計	469	31 (月平均：2.6人)

(イ) 川尻防潮堤側道等 ごみ拾い実施状況 (回)

合計：190回 月平均：15.8回

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
8	16	17	13	16	13	19	18	20	19	18	13

(ウ) 水防センター 施設点検・清掃実施状況 (回)

合計：191回 月平均：15.9回

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
8	16	17	13	16	13	19	18	20	19	18	14

(エ) シャリンバイ苗補植数 (本)

合計：509本

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
97	9	51	0	0	0	0	101	100	85	33	33

(オ) 植栽状況

植栽場所	植栽花
水防センター花壇	ツルコザクラ・ガウラ・マリーゴールド・日日草
水防センター付近(延長100m)	ルドベキア
防潮堤緑道(延長150m)	ツルコザクラ・日日草・ハウセンカ

イ 経 費：臨時雇賃金 144,393円
 消耗品費(燃料、工具消耗品他) 1,239,500円

車両費（ガソリン代、車両点検費）	114,164 円
賃借料（軽トラックリース代）	344,091 円
保険料（傷害保険料、賠償保険料）	22,100 円

ウ 財 源：町委託料

(5) 地域活性化推進事業 0 円

ア 吉田町商工会プレミアム付き商品券販売協力

吉田町商工会が実施するプレミアム付き商品券販売の会場のために、他の施設利用予約者との調整を行った。

(ア) 施設貸出日、時間

11 月 18 日（土）、11 月 19 日（日）、11 月 20 日（月）（いずれも 9 時から 16 時まで）

11 月 21 日（火）（9 時から正午まで）

(イ) 貸出箇所

オアシス館ホール、ダスト舗装広場

イ 静岡うなぎ漁業協同組合吉田売店移転新規オープン協力

公社ホームページ内お知らせページに、吉田売店の移転新規オープンに関する紹介記事を掲載した。

掲載期間：2 月 7 日（水）～2 月 29 日（木）

(6) 吉田町防災公園（北オアシスパーク）運営管理事業 13,059,421 円

町との基本協定書、運営管理仕様書及び関係町条例等に基づき、快適で安全に利用できる施設の管理運営を行った。

ア 施設利用状況 施設利用報告書参照・・・・・・・・・・別紙 1

イ 施設管理状況 防災公園施設管理状況参照・・・・・・・・・・別紙 2

ウ 施設運営

(ア) フラワーポットなどによる環境美化

町内花愛好家からの提供されるフラワーポットの花などにより、年間を通じた環境美化に努めた。

提供された主な花木

パンジー、ビオラ、ツルコザクラ、日日草、シンビジウム、クンシラン、菊など

(イ) 防災啓発活動

町内小学校、高齢者福祉団体の防災施設見学を受け入れ、防災機能の説明などによる防災啓発活動を行った。

◇ 吉田町立住吉小学校 5 年生 67 人

7 月 21 日（金）13：45～14：45

◇ ボランティアグループ心音講座「遊学くらぶ」 25 人

10 月 13 日（金）9：30～11：30

(ウ) 吉田特別支援学校高等部作業学習「地域作業」

特別支援学校高等部 2 年生徒の作業学習の場として、公園内除草、ゴミ拾い、

施設清掃など行っていただき、1年をとおり施設の美化が保たれることとなった。

◇実施日 4月19日 5月10日 6月7日 9月13日、20日、27日
11月8日 12月6日 1月17日、24日、31日
2月7日・14日 3月6日 (すべて水曜日)

◇作業人数 生徒7～9人 教師3人

ア 経 費：	人件費（役員報酬、職員給料他）	7,367,378 円
	委託費（施設維持管理業務、合併処理浄化槽点検、芝生広場 除草剤散布、防犯ガードシステム他）	3,250,188 円
	水道光熱費	1,361,783 円
	消耗品費（清掃用具、トイレ用具、芝目土、花苗他）	644,051 円
	賃借料（防犯カメラ、AED 他）	240,098 円
	その他	195,923 円
イ 財 源：	指定管理料 施設利用料	

3 執行機関

(1) 理事会の開催

ア 第1回理事会(令和5年5月26日)

出席理事4人／理事総数5人 出席監事1人／監事総数1人

議 事

第1号議案 令和4年度事業報告について

第2号議案 令和4年度決算について

第3号議案 役員を選任について

※齊藤龍馬理事再任議案の社員総会への提出が承認された

第4号議案 定時社員総会の開催について

第1号報告 令和5年度吉田町の特産品を活用したまちの魅力発信事業について

イ 第2回理事会(令和6年3月27日)

出席理事4人／理事総数5人 出席監事1人／監事総数1人

議 事

第1号報告 理事長の職務執行状況について

第1号議案 一般社団法人吉田町まちづくり公社職員の給料決定
基準（内規）の全部改正について

第2号議案 令和6年度事業計画について

第3号議案 令和6年度収支予算について

第4号議案 臨時社員総会の開催について

第2号報告 2023 べっぴん購入特典キャンペーン実施結果（概要）
について

(2) 社員総会の開催

ア 定時社員総会(令和5年5月26日)

出席社員8人(委任状による社員(2人)を含む。)/社員総数8人

議 事

第1号報告 令和4年度事業報告について

第1号議案 令和4年度決算について

第2号議案 役員の選任について

※齊藤龍馬理事再任議案が承認された

第2号報告 令和5年度吉田町の特産品を活用したまちの魅力発信
事業について

イ 臨時社員総会(令和6年3月27日)

出席社員8人(委任状による社員(1人)を含む。)/社員総数8人

議 事

第1号議案 令和6年度事業計画について

第2号議案 令和6年度収支予算について

第1号報告 2023ベっぴん購入特典キャンペーン実施結果(概要)
について

(3) 監事監査の実施

決算監査(令和5年5月18日)

出席監事1人/監事総数1人

令和4年度業務監査

令和4年度会計監査